

《平成18年度北海道代協函館支部総会松浦則雄支部長挨拶》

日時 平成18年4月21日(金)

場所 函館サンリフレ(大森町)

本日は北海道代協函館支部の定時総会に時節柄お忙しい中、沢山の会員の皆様にご出席賜りまして誠にありがとうございました。

またご来賓の函館損保会の合田幹事様、日本代協常任理事の高梨様にもご出席いただきまして重ねて御礼申し上げます。

平成16年、私が支部長を仰せつかりスタートしました、新生函館支部も早いもので、今年で満2年を迎えました。

就任当初から、私は、代協も組織である以上、たくさんの会員がいる事によって、大きなパワーが発揮できるものと、言い続けてきました。

この間当初、40名だった会員が22名も増えて、今年3月末で62名になりました。

さらに今年1月には札幌について、函館支部にも青年部が発足。元気なヤングパワーで、若手会員拡大に威力を発揮するものと期待しております。

これもひとえに、会員の皆様方の一人ひとりが一生懸命に、代協活動の必要性和重要性を「声を大にして」、会員の拡大活動をした結果、50%以上の大幅増員を実現できたものと改めて感謝申し上げます。

さてここで日本と世界の災害現況をお話しします。日本では昨年3月と8月に福岡西方沖地震、宮城沖地震はじめ、9月には台風14号が宮崎から東京まで「日本列島」を暴れまくりました。

又世界的には8月にアメリカの「カトリーナ」ハリケーンがニューオーリンズ市民を襲い、今でも数万人の被災者が路頭に迷っている事は記憶に新しいことと思います。

このように、毎年立て続けに「地震と台風」の大災害が、地球規模で発生している今世紀、「危機管理」が売り物の「保険代理店」にとって、正に沢山のビジネスチャンスに恵まれた時代である、といっても過言ではありません。

しかし一方で業界では、相変わらず保険金の不払い事故があとを絶たず、矢継ぎ早にでき過ぎた「特約」に「コンピューターシステム」が追いつかないことが原因であり。メーカーと我々代理店は消費者に対して、真摯に謝罪し、二度とミスを起こさない事を約束しなければなりません。

又昨年4月に「個人情報保護法」の施行いらい、代理店やメーカー社員による、パソコンの盗難やお客様情報のファイル紛失事故などが頻発。厳重な顧客管理の必要性が、一層要求される時代になりました。

正に「コンプライアンス遵守」ができない保険代理店は、市場から退場を迫られる、厳しい時代が現実のものになった事を、認識しなければなりません。

我々代協メンバーは、今こそ「原点に立ち返った募集環境」で保険代理業を経営することを信条に。お客様にあらゆる保険商品の内容を、正しく理解してもらい募集活動する事で、他の代理店との差別化を図るものと思います。

次に本年度の活動方針をお話しします。代協会員は、お客様に安心と安全な代理店である事をアピールするために、セミナー開催による、会員の「代理店バイセキ」加入促進を図る。昨年度に引き続き「認定保険代理士」取得を推進するコンプライアンス啓蒙と、各社別の商品内容の研修会と情報交換会を開催する継続的に会員拡大を図る。さらに本年度で4回目の「タオルチャリティー」など昨年度の事業はほとんど継続する計画であります。

いずれも代協活動は「会員の、会員による、会員のため」が原点であります。一人ひとりが活動方針をご理解いただきまして、「全員参加型活動」により、代協ブランドを構築していきたいと思っておりますので、是非ここにお集まりの皆様には、一緒に汗を流していただきたいと思っております。

最後になりましたが、本日ご参加の会員の皆様方と、ご来賓であります保険会社の益々のご繁栄と、ご健勝を祈念しまして挨拶に代えさせていただきます。